

森のたより



2019年1月9日発行
発行者：流山市立森の図書館
指定管理者：株式会社すばる
住所：流山市東深井991
電話：04-7152-3200

新年あけましておめでとうございます

本年も森の図書館をよろしくお願いいたします



今年
は
亥
年



古くから狩りの対象とされてきたイノシシは、縄文時代には土器文様の装飾に使われていました。

イノシシといえば「猪突猛進」という言葉が思い浮かぶように、向こう見ずにまっすぐ突き進む印象がありますね。そのような印象のイノシシですが、人助けをした説話が残されています。イノシシにゆかりのある神社をご紹介します。

ごおう 護王神社 (京都府)



狛犬ならぬ「狛イノシシ」のある神社。主祭神の和氣清麻呂公が災難にあわれたのを 300 頭ものイノシシが現れて、清麻呂公をお護りしたことから明治 2 3 年に建てられました。以来、「狛イノシシ」は護王神社のシンボルとして親しまれています。



上記の逸話に基づいた和氣清麻呂公と護王神社と猪がデザインされた十円紙幣が、1899年(亥年)から40年間に渡り発行されていました。通称「裏猪10円」と呼ばれています。当時、三陸・東京の震災で街や景気が停滞していたそうです。和氣清麻呂公と猪の逸話のように勢づいて欲しいと願ったのかもしれませんが。

画像出典：『日本貨幣カタログ 2014』日本貨幣商協同組合

🏠 『護王神社』京都市上京区烏丸通下長者町下ル桜鶴円町 385

参考：<http://www.goujinja.or.jp/> (護王神社HP)

